



Cisco Unified Reporting アドミニストレーションガイド for Cisco Unified Presence Release 8.0/8.5/8.6

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

- 「[Cisco Unified Reporting について](#)」
- 「[Cisco Unified Reporting の前提条件](#)」
- 「[Access Cisco Unified Reporting へのアクセス方法](#)」
- 「[Cisco Unified Reporting でのレポートの操作方法](#)」
- 「[詳細情報の入手先](#)」

Cisco Unified Reporting について

- [「Cisco Unified Reporting の概要」](#)
- [「Cisco Unified Reporting アプリケーションのしくみ」](#)
- [「サポートされる Cisco Unified Presence レポート」](#)

Cisco Unified Reporting の概要

Cisco Unified Reporting Web アプリケーションでは、クラスタ データのスナップショットを含んだレポートを生成できます。このアプリケーションには、Cisco Unified Presence コンソールからアクセスします。このツールでは、既存のソースからクラスタ データを収集し、そのデータを調査、比較し、問題が報告された場合はその問題をトラブルシューティングすることができます。

Cisco Unified Reporting には、レポートの生成、ダウンロード、アーカイブ、およびアップロードを行うためのユーザ インターフェイスが用意されています。レポートを生成するのに非常に時間がかかる場合、または CPU の使用率が非常に高くなる場合は、通知メッセージが表示されます。

Cisco Unified Reporting アプリケーションのしくみ

Cisco Unified Reporting Web アプリケーションは、インストール時にクラスタ内のすべてのサーバに展開されます。レポートは、データベース レコードから生成されます。Cisco Unified Reporting でレポートを生成すると、レポートでは、1 台以上のサーバにある 1 つ以上のソースからのデータを結合して、1 つの出力ビューを作成します。たとえば、クラスタ内の全サーバの *hosts* ファイルを表示するレポートを参照できます。

データ ソース

このアプリケーションでは、パブリッシャ サーバと各サブスクライバ サーバに格納されている次のいずれかのソースから情報を取り込みます。

- RTMT カウンタ
- CDR_CAR
- CUP DB
- ディスク ファイル
- OS API 呼び出し
- ネットワーク API 呼び出し
- CLI

レポートには、レポートの生成時点でアクセスできるすべてのアクティブなクラスタ ノードのデータが取り込まれます。パブリッシャ サーバのデータベースが停止している場合は、アクティブなノードのレポートを生成できます。

データ出力

このリリースでは、レポートの HTML 出力をサポートしています。Cisco Unified Reporting では、レポート名と日付と時刻のスタンプによってレポートを識別できます。このアプリケーションでは、ユーザが表示できるように最近のレポートのローカル コピーが保管されます。[「レポートのダウンロードとアーカイブ」](#)

で説明しているように、最近のレポートのローカル コピーまたは新しいレポートをハードディスクにアーカイブすることができます。レポートをアーカイブするときは、区別するためにアーカイブするファイルの名前を変更するか、別のフォルダに保存できます。

ステータスの確認

一部のレポートでは、クラスタの動作に影響を与える可能性がある状態を特定するためにチェックを実行します。ステータス メッセージには、次のように実行するデータ チェックごとに結果が示されます。



このアイコンは、操作またはデータ チェックが正常に実行されたことを示します。



このアイコンは、操作またはデータ チェックによって推奨メッセージが呼び出されたことを示します。このアイコンは、推奨メッセージを呼び出す情報グループのデータ項目ごとに表示されます。



このアイコンは、操作またはデータ チェックが失敗したことを示します。このアイコンは、情報グループに見つかったデータ エラーごとに表示されます。



このアイコンは、操作またはデータ チェックに関する情報を提供します。

サポートされる Cisco Unified Presence レポート

表 1 では、Cisco Unified Presence をインストールした後に Cisco Unified Reporting に表示されるシステム レポートの種類について説明します。表 1 に記載されているすべてのレポートの種類を表示し、生成できます。

表 1 Cisco Unified Reporting に表示される標準レポート

レポート	説明
Report Descriptions	表示しているレポートに関するトラブルシューティング情報と詳細情報を提供します。このレポートでは、レポート、各情報グループ、各データ項目、データ ソース、関連する問題の現象、および対処方法を説明します。
Unified CUP Cluster Overview	Cisco Unified Presence クラスタの概要を提供します。このレポートでは、クラスタにインストールされている Cisco Unified Presence のバージョン、クラスタ内のすべてのサーバのホスト名または IP アドレス、ハードウェア詳細情報の要約などを確認できます。
Unified CUP Database Replication Debug	データベース複製のためのデバッグ情報を提供します。 ヒント このレポートを生成すると、CPU の使用率が急増し、生成するのにクラスタ内のサーバごとに最大 10 秒かかる可能性があります。

表 1 Cisco Unified Reporting に表示される標準レポート (続き)

レポート	説明
Unified CUP Database Status	Cisco Unified Presence データベースのヘルス スナップショットを提供します。アップグレードする前にこのレポートを生成して、データベースが正常であることを確認します。
Unified CUP Table Count Summary	データベースを中心にデータを表示します。このレポートは、データベース スキーマを理解している管理者または AXL API 開発者の役に立ちます。

Cisco Unified Reporting の前提条件

- 「アクセス権限」
- 「システム要件」

アクセス権限

Cisco Unified Reporting アプリケーションでは、Cisco Tomcat サービスを使用してユーザを認証してから、Web アプリケーションへのアクセスを許可します。権限のあるユーザだけが Cisco Unified Reporting アプリケーションにアクセスできます。デフォルトでは、Standard CUP Super Users グループの管理者ユーザだけが Cisco Unified Reporting にアクセスして、レポートを表示、作成できます。

権限のあるユーザは、Cisco Unified Reporting ユーザ インターフェイスを使用して、レポートの表示、新しいレポートの生成、およびレポートのダウンロードを実行できます。



(注)

Standard CUP Super Users グループの管理者ユーザは、Cisco Unified Presence の管理のナビゲーションメニューで、Cisco Unified Reporting を含むすべての管理アプリケーションにアクセスできます。このアプリケーションのいずれかにシングル サインオンします。必要に応じて、Cisco Unified Presence Administration の [アプリケーション ユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウで、Cisco Unified Reporting の新しい管理者アカウントをセットアップできます ([ユーザ管理 (User Management)] > [アプリケーション ユーザ (Application User)] を選択します)。

システム要件

- Cisco Unified Reporting は、Cisco Tomcat サービス上でアプリケーションとして実行されます。このアプリケーションは、Cisco Unified Presence のインストール時にアクティブになります。Cisco Unified Presence がクラスタ内のすべてのサーバで実行されていることを確認します。
- レポート サブシステムでは、HTTPS 経由で RPC メカニズムを使用して他のサーバから情報を収集します。レポートが正常に生成されるように、サーバで HTTPS ポートが開いていて、Cisco Tomcat サービスを実行していることを確認します。
- アプリケーションにアクセスするには、ブラウザ ウィンドウで Cisco Unified Presence の管理にアクセスします。Cisco Unified Reporting では、HTTPS を使用してブラウザとのセキュアな接続を確立します。

Access Cisco Unified Reporting へのアクセス方法

- 「Cisco Unified Reporting へのアクセス」
- 「ユーザ インターフェイス ナビゲーション」

Cisco Unified Reporting へのアクセス

はじめる前に

Cisco Unified Reporting アプリケーションへのアクセスが許可されていることを確認します。「[アクセス権限](#)」(P.4) を参照してください。

手順

ステップ 1 次のいずれかの方法を使用して Cisco Unified Reporting アプリケーションにアクセスします。

場所 :	操作
Cisco Unified Presence の管理ページ	(コンソールの右上にある) [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウン リストから [Cisco Unified Reporting] を選択します。
Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool (RTMT)	[ファイル (File)] > [Cisco Unified Reporting] を選択します。
サーバ URL	<p>a. ブラウザの URL アドレス フィールドに次のいずれかのアドレスを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - <code>https://<server name>:8443/cucreports/</code> - <code>https://<IP address>:8443/cucreports/</code> <p>b. 権限のあるユーザ名とパスワードを入力します。</p>

トラブルシューティングのヒント

- セキュリティアラートによって、サイトが信頼されていないことが通知された場合、サーバ証明書がまだダウンロードされていません。IE 8 の制約事項に関するトピックを参照してください。
- Cisco Unified Reporting からサインアウトするには、メニュー バーの [ログアウト (Logout)] を選択します。

ユーザ インターフェイス ナビゲーション

図 1 に、Cisco Unified Reporting の UI 要素を示します。

ナビゲーション コントロール	説明
ナビゲーション フレーム	<p>左側のフレームは、ナビゲーション フレームで、レポートのカテゴリが表示されます。選択したカテゴリ（この例では、システム レポート）のレポートのリストが、左側のフレームでカテゴリ名の下に表示されます。左側のフレームでレポートを選択すると、右側のフレームに詳細情報が表示され、選択したレポートの構成を確認し、操作できます。</p>
コンテンツ フレーム	<p>右側のフレームは、コンテンツ フレームで、レポートの詳細情報が表示されます。レポートを開くと、レポート名、日付と時刻のスタンプ、およびレポートの簡単な説明が表示されます。</p> <p>レポートでは、データは情報グループに分かれて表示されます。この情報グループによって、データ項目またはデータ ソースを特定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ステータス メッセージは、1 つの情報グループに対して表示されます。詳細については、「Cisco Unified Reporting について」を参照してください。 操作アイコンがウィンドウの右上に表示されるので、選択したレポートで実行できる操作がわかります。詳細については、「操作アイコン」を参照してください。 [レポートの説明 (Report Descriptions)] レポートは、レポートのリストに表示されます。このレポートには、インストールされているすべてのレポートに関する詳細情報と、トラブルシューティング情報が表示されます。詳細については、「Cisco Unified Reporting について」を参照してください。

図 1 は、Cisco Unified Reporting インターフェイスの例です。レポートのカテゴリ、使用できるレポート、およびレポートのデータは、リリースによって異なります。

図 1 ユーザ インターフェイス

The screenshot displays the Cisco Unified Reporting web interface. At the top, there is a navigation bar with the Cisco logo and the text 'Cisco Unified Reporting For Cisco Unified Communications Solutions'. On the right side of the navigation bar, it shows 'Navigation Cisco Un' and 'CCMAdministrator | Search D'. Below the navigation bar, there is a 'System Reports' section with a dropdown menu. The main content area shows a report titled 'Unified CUP Cluster Overview'. A green checkmark icon indicates that the report opened successfully. The report provides an overview of the Unified CUP cluster, including the cluster name and publisher server name/IP. It also lists all servers in the cluster by name, description, and IP address, and checks the Unified CUP version running on each installed server.

Unified CUP Cluster Overview

Provides an overview of the Unified CUP cluster.
Created on Fri Sep 03 18:32:49 EDT 2010

Unified CUP Cluster Name
Lists the cluster name from the Cluster Topology Settings page and the publisher server name/IP.

Cluster Name	Publisher Name/IP
StandAloneClustered548	kal-cup1.cisco.com

Unified CUP Provisioned Servers
Lists all servers in the cluster by either name or IP as provisioned in the database and whether the server is installed or not. The IP address is obtain server.

Name	Description	IP Address
kal-cup1		172.18.195.240
shorty-cups		172.18.199.95

Unified CUP Version
Checks the Unified CUP version running on each installed server and returns a summary checking to see if they are all the same.

✓ The CUCM Version on all servers is:cm-ver-8.5.0.96000-9001

Cisco Unified Reporting でのレポートの操作方法

- 「操作アイコン」
- 「既存のレポートのコピーの表示」
- 「新しいレポートの生成」
- 「レポートのダウンロードとアーカイブ」
- 「レポートのアップロード」

操作アイコン

インターフェイスには、レポートを操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの上にマウスを移動すると、アイコンの説明が表示されます。ウィンドウで特定の操作を実行できない場合は、そのアイコンは表示されません。



レポートのアップロードアイコン。この手順については、「[レポートのアップロード](#)」を参照してください。



レポートのダウンロードアイコン。この手順については、「[レポートのダウンロードとアーカイブ](#)」を参照してください。



レポートの作成アイコン。この手順については、「[新しいレポートの生成](#)」を参照してください。

既存のレポートのコピーの表示

既存のレポートのコピーを表示できます。ただし、フレッシュインストールまたはアップグレード時に Cisco Unified Reporting アプリケーションでは、最近のレポートのローカルコピーを保存しません。

はじめる前に

- 1 台以上のサーバで Cisco Tomcat サービスが実行されていて、レポートの表示に関してサポートされている Web ブラウザを使用していることを確認します。「[Cisco Unified Reporting の前提条件](#)」を参照してください。
- ハードドライブに前のレポートがすでに保存されているレポートの種類を選択した場合、メッセージ「<filename> という名前のレポートのローカルコピーはすでに存在します。(A local copy of report with name <filename> already exists.)」がローカルコピーへのリンクと共に表示されます。ローカルコピーが存在しない場合、メッセージ「<filename> という名前のレポートは存在しません。新しいレポートを作成してください。(A report by name <filename> does not exist. Generate a new report.)」が表示され、新しいレポートを生成するように指示されます。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Reporting を開いて、メニューバーから [システム レポート (System Reports)] を選択します。
 - ステップ 2** 左側のフレームにあるレポートのリストから表示するレポートを選択します。
 - ステップ 3** レポート名のリンクを選択して、レポートを表示します (日付と時刻がスタンプされています)。
 - ステップ 4** 必要に応じて、次のいずれかの操作を実行します。
 - a.** [詳細の表示 (View Details)] リンクを選択して、自動的に表示されないセクションの詳細情報を表示します。
 - b.** 再び [詳細の表示 (View Details)] を選択して、表示されているセクションを閉じます。
-

次の作業

[「レポートのダウンロードとアーカイブ」](#)

トラブルシューティングのヒント

- レポートを印刷するには、ブラウザの印刷機能を使用します。印刷する前に必ず [詳細の表示 (View Details)] リンクをクリックして、印刷するすべてのデータを表示します。
- 情報グループに対して緑色のチェックマーク アイコンが表示されている場合、そのグループの詳細情報を表示しないようにすることができます。このアイコンは、その情報グループのデータチェックが正常に実行されたことを示しています。
- レポートで、項目に対するデータ チェックが失敗したことが示された場合は、[レポートの説明 (Report Descriptions)] レポートを選択して、「サポートされる Cisco Unified Presence レポート」で説明している対処方法に関するトラブルシューティング情報を確認します。

関連トピック

[「Cisco Unified Reporting について」](#)

新しいレポートの生成

新しいレポートを生成して、表示できます。

はじめる前に

1 台以上のサーバで Cisco Tomcat サービスが実行されていて、レポートの表示に関してサポートされている Web ブラウザを使用していることを確認します。「[Cisco Unified Reporting の前提条件](#)」を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Reporting を開いて、メニュー バーから [システム レポート (System Reports)] を選択します。
- ステップ 2** 次のいずれかの操作を実行して、新しいレポートを生成し、表示します。
- [新規レポートを作成します (Generate a New Report)] リンクを選択します。
 - レポートの作成 (棒グラフ) アイコンを選択します。
- ステップ 3** 必要に応じて、次のいずれかの操作を実行します。
- [詳細の表示 (View Details)] リンクを選択して、自動的に表示されないセクションの詳細情報を表示します。
 - 再び [詳細の表示 (View Details)] を選択して、表示されているセクションを閉じます。
-

次の作業

[「レポートのダウンロードとアーカイブ」](#)

トラブルシューティングのヒント

- レポートを印刷するには、ブラウザの印刷機能を使用します。印刷する前に必ず [詳細の表示 (View Details)] リンクをクリックして、印刷するすべてのデータを表示します。
- レポートを生成するのに非常に時間がかかる場合、または CPU 時間が非常に多くなる場合は、アプリケーションによって通知されます。レポートの生成中は経過表示バーが表示されます。新しいレポートが表示され、日付と時刻が更新されます。

- 情報グループに対して緑色のチェックマーク アイコンが表示されている場合、そのグループの詳細情報を表示しないようにすることができます。このアイコンは、その情報グループのデータチェックが正常に実行されたことを示しています。
- レポートで、項目に対するデータ チェックが失敗したことが示された場合は、[レポートの説明 (Report Descriptions)] レポートを選択して、「サポートされる Cisco Unified Presence レポート」で説明しているトラブルシューティング情報と対処方法を確認します。レポートの説明レポートはデータベースから動的に生成されるので、新たに、新規のレポートの説明レポートを生成することもできます。

関連トピック

「Cisco Unified Reporting について」

レポートのダウンロードとアーカイブ

レポートをアーカイブするには、レポートをダウンロードして、ローカルでハード ドライブに保存します。レポートをダウンロードすると、raw XML データ ファイルがハード ディスクにダウンロードされます。

はじめる前に

既存のレポートを選択してダウンロードするか、新しいレポートを生成してダウンロードします。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Reporting を開いて、メニュー バーから [システム レポート (System Reports)] を選択します。
- ステップ 2** 次のいずれかの操作を実行します。

ダウンロードするレポート :	動作
日付と時刻がスタンプされ、表示されている既存のレポート	<p>a. 既存のレポートの詳細情報を開いて、表示します。「既存のレポートのコピーの表示」を参照してください。</p> <p>b. レポートのダウンロード (緑色の矢印) アイコンを選択します。</p> <p>(注) ドキュメントをダウンロードする前に、[詳細の表示 (View Details)] リンクをクリックしてレポートの詳細情報を表示する必要はありません。ダウンロードしたファイルには、すべてのデータが取り込まれています。</p>
新しいレポート	<p>a. 新しいレポートを生成します。「新しいレポートの生成」を参照してください。</p> <p>b. 新しいレポートが表示されたら、レポートのダウンロード (緑色の矢印) アイコンを選択します。</p> <p>(注) ドキュメントをダウンロードする前に、[詳細の表示 (View Details)] リンクをクリックしてレポートの詳細情報を表示する必要はありません。ダウンロードしたファイルには、すべてのデータが取り込まれています。</p>

- ステップ 3** [ファイルのダウンロード (File Download)] ダイアログボックスが表示されているときに、次のいずれかの操作を実行します。
- a. [開く (Open)] を選択して、ファイルを開き、そのファイルをディスク上の一時的な場所に保存します。レポートの XML ファイルが表示されます。
 - b. [保存 (Save)] を選択して、指定したディスク上の場所にファイルを保存します。
- ステップ 4** ダウンロードが完了したら、次の手順を実行します。
- a. [ダウンロードの完了] ウィンドウで [閉じる (Close)] を選択します。
 - b. [開く (Open)] を選択して、ファイルが格納されているフォルダを開き、XML レポートを表示します。

次の作業

ダウンロードまたはアーカイブしたファイルをブラウザで表示するには、「[レポートのアップロード](#)」で説明しているようにファイルをサーバにアップロードします。

トラブルシューティングのヒント

- ファイルの場所に移動して、ファイル名のリンクをクリックすると、いつでも XML レポート ファイルを表示できます。ファイル名またはハード ディスク上のファイルの保存場所を変更するには、新しい場所を入力するか、ファイル名を変更します (オプション)。ダウンロード中は経過表示バーが表示されます。
- XML ファイルの内容を変更しないようにしてください。変更すると、レポートが適切に表示されない可能性があります。
- テクニカル サポートを受けるときに、ダウンロードしたファイルを電子メールに添付するか、ファイルを別のサーバにアップロードできます。

関連トピック

[「Cisco Unified Reporting について」](#)

レポートのアップロード

(ハードディスクにアーカイブした) レポートをブラウザ ウィンドウで表示するには、そのレポートをサーバにアップロードする必要があります。

はじめる前に

ハードドライブにレポートをダウンロードし、アーカイブします。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Reporting を開いて、メニュー バーから [システム レポート (System Reports)] を選択します。
- ステップ 2** レポートにアクセスすると、[レポート (Reports)] ウィンドウに [レポートのアップロード](#) アイコン (青色の矢印) が表示されます。
- ステップ 3** [レポートのアップロード](#) アイコンを選択します。
- ステップ 4** .xml ファイルの場所を指定するには、ファイルのパスを入力するか、[参照 (Browse)] を選択して、ハードドライブ上のファイルの場所に移動します。

ステップ 5 [アップロード (Upload)] を選択します。

ステップ 6 [続行 (Continue)] を選択して、アップロードしたファイルをブラウザ ウィンドウに表示します。

次の作業

たとえば、アップグレードするときにアップロードしたレポートと新しく生成したレポートを並べて比較できます。

トラブルシューティングのヒント

アップロード中は経過表示バーが表示されます。サーバへのアップロードが完了すると、[アップロード結果 (Upload Results)] ウィンドウにアップロードしたファイルの名前が表示されます。

詳細情報の入手先

- 「[Cisco Unified Presence のマニュアル](#)」
- 「[オンライン ヘルプとレポート ヘルプへのアクセス方法](#)」

Cisco Unified Presence のマニュアル

次の Cisco Unified Presence のマニュアルについては、Cisco.com 内の次の場所を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/tsd_products_support_series_home.html

- 『*Real-Time Monitoring Tool (RTMT) Administration Guide for Cisco Unified Presence*』
- 『*Serviceability Configuration and Maintenance Guide for Cisco Unified Presence*』
- 『*Cisco Unified Operating System Maintenance Guide for Cisco Unified Presence*』
- 『*Command Line Interface (CLI) Reference Guide for Cisco Unified Presence*』
- Cisco Unified Presence と統合するアプリケーションに関するリリース ノート、インストール/アップグレード、およびコンフィギュレーション ガイド

オンライン ヘルプとレポート ヘルプへのアクセス方法

Cisco Unified Reporting UI には、管理に関するヘルプとレポートに関するヘルプの 2 種類のオンライン ヘルプが用意されています。

- 管理に関するヘルプにアクセスするには、メニュー バーで [ヘルプ (Help)] > [このページ (This Page)] を選択します。ナビゲーション フレームのトピック リストまたはコンテンツ フレームの上 (前) 矢印と下 (次) 矢印を使用して、その他の情報を見つけることができます。
- レポートに関するヘルプにアクセスするには、レポートのリストで [レポートの説明 (Report Descriptions)] リンクを選択します。このレポートでは、レポート、各情報グループ、各データ項目、データ ソース、関連する問題の現象、および対処方法を説明します。



(注)

[レポートの説明 (Report Descriptions)] リンクでは、リストに記載されている現象に関する一般的な修復方法が示されます。場合によっては、追加のサポートを得るために TAC に連絡する必要があります。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Unified Reporting アドミニストレーションガイド for *Cisco Unified Presence Release 8.5*

© 2011 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

© 2011 シスコシステムズ合同会社 . All rights reserved.

